

## 富山市の公共交通に関する市民意識調査

## 1. 調査概要

調査目的	公共交通の活性化を図り、コンパクトシティの形成を推進することを目的に、日常生活における交通の利用状況を把握するとともに、公共交通政策に対する市民の考え方を調査します。
調査方法	富山市内にお住いの方（無作為抽出）にアンケート調査票を郵送配布し、郵送で回収。（対象は15歳以上）
調査期間	令和元年7月11日（木）～7月31日（水）
回収率	配布：9,000票、回収：4,102票、回収率：45.6%
主な調査項目	①普段の外出について ②公共交通（鉄道・市内電車・バスなどの利用について） ③公共交通の満足度・改善点について ④富山市のコンパクトシティ政策について （平成26年度の前回調査と比較するため、調査項目は前回同様。）

## 調査結果の表記に関する留意点

- ・ 比率はすべて百分率で表示し、小数第1位を四捨五入して算出しているため、個々の比率の合計と全体を示す数値とは一致しない場合があります。
- ・ 複数回答の場合は、比率の合計が100%を上回ります。  
また、（複数回答：2）と記載されている場合は、回答数の上限が2つまでの質問であり、（複数回答）と記載されている場合は、回答数に上限のない質問です。
- ・ Nは各質問に対する回答者数であり、比率算出の基数です。
- ・ 回答者数は、「無回答」「無効回答」を除きます。
- ・ 回答の集計結果について、『満足』＝「満足」＋「やや満足」、『不満』＝「不満」＋「やや不満」と表す場合があります。
- ・ 「前回調査」と「前々回調査」は、それぞれ平成26年度、平成18年度に実施した「富山市の公共交通（鉄道やバスなど）に関する市民意識調査」の結果を示します。

## 2. 回答者の属性

### 2.1 性別・年齢

- ・回答者の性別は、男性 57%、女性 43%です。(前回調査、前々回調査と同割合)
- ・回答者の年齢は、60歳以上が全体の 54%を占め、前回の 48%から 6ポイント増加しています。(70代以上の割合は、前々回が 23%、前回は 26%、今回は 33%と大きく増加しています。)

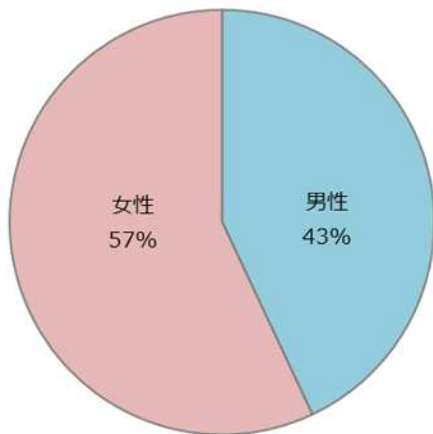
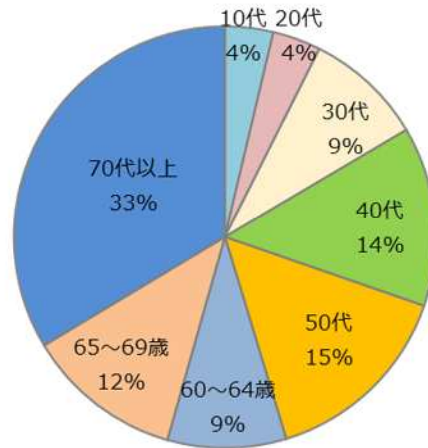


図 1 性別

N=3899



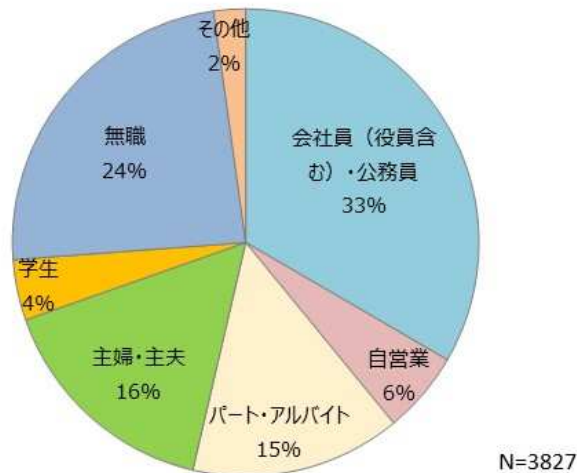
N=3907

図 2 年齢

### 2.2 職業

- ・回答者の職業は、会社員・公務員が 33%、自営業 6%、パート・アルバイト 15%、主婦・主夫 16%、学生 4%、無職 24%、その他 2%で、前回の調査とほぼ同じです。

(前回調査は、会社員・公務員が 34%、自営業 6%、パート・アルバイト 13%、主婦・主夫 17%、学生 5%、無職 22%、その他 3%)



N=3827

図 3 職業

### 2.3 車・運転免許

- 自由に使える車がある人は79%で、前回調査より2ポイント増加しています。
- 30代から64歳までの年代では、自由に使える車がある人は9割を超えています。

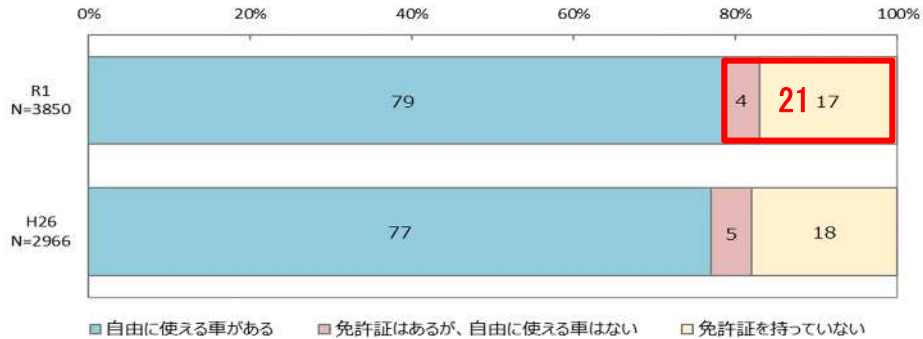


図 4 車・運転免許の有無

表 1 性別・年齢別の車・免許証の有無

		回答者数	自由に使える車がある	免許証はあるが、自由に使える車はない	免許証を持っていない
全体		3,850	78.8	4.1	17.1
性別	男性	1,661	85.2	2.8	11.9
	女性	2,171	74.2	4.9	20.9
年齢	10代	144	10.4	2.8	86.8
	20代	146	81.5	12.3	6.2
	30代	353	93.8	4.8	1.4
	40代	536	92.0	5.6	2.4
	50代	585	93.8	3.2	2.9
	60~64歳	354	91.8	3.4	4.8
	65~69歳	464	85.1	4.3	10.6
	70代以上	1,258	63.6	2.9	33.5

### 2.4 運転免許の返納

- 免許証をもっていない人のうち49%が免許返納者で、前回調査より12ポイント増加しており、免許返納制度の認知が進んでいると考えられます。

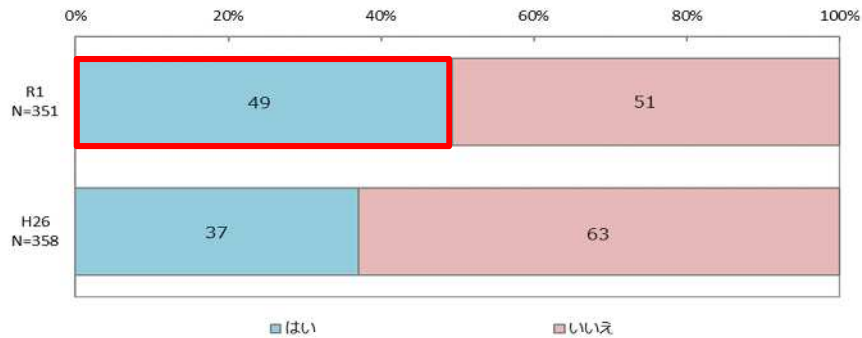


図 5 運転免許の返納者（運転免許がない方のみ）

## 2.5 高齢者の車・運転免許

- 自由に使える車がある高齢者（60歳以上）は73%で、前回調査より8ポイント増加しており、自由に自動車を使うことが定着した世代が高齢化し、車を使う高齢者の割合が増加していると考えられます。

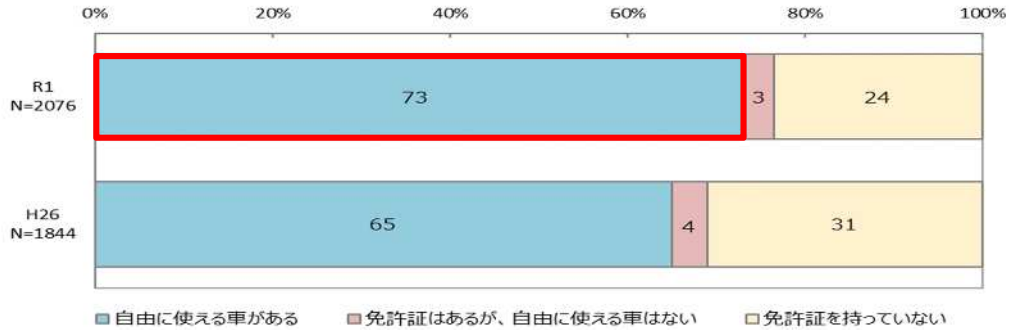


図 6 高齢者の車・運転免許 ※高齢者：60歳以上

## 2.6 スマートフォン利用

- スマートフォン利用者が前回調査より23ポイント増加しています。
- 10代から40代までが9割、50代から60代でも5割以上がスマートフォンを利用しており、前回調査から大幅に増加していることから、公共交通の利便性向上等に活用を検討していく必要があります。

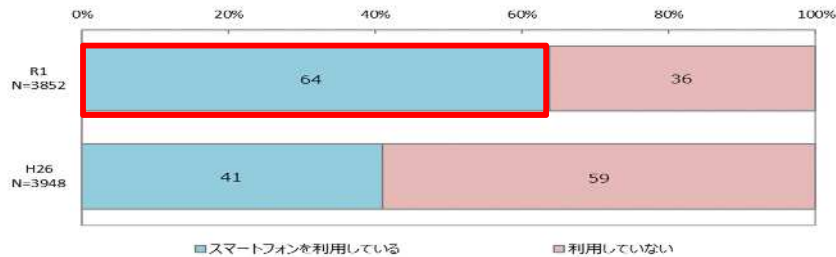


図 7 スマートフォン利用者

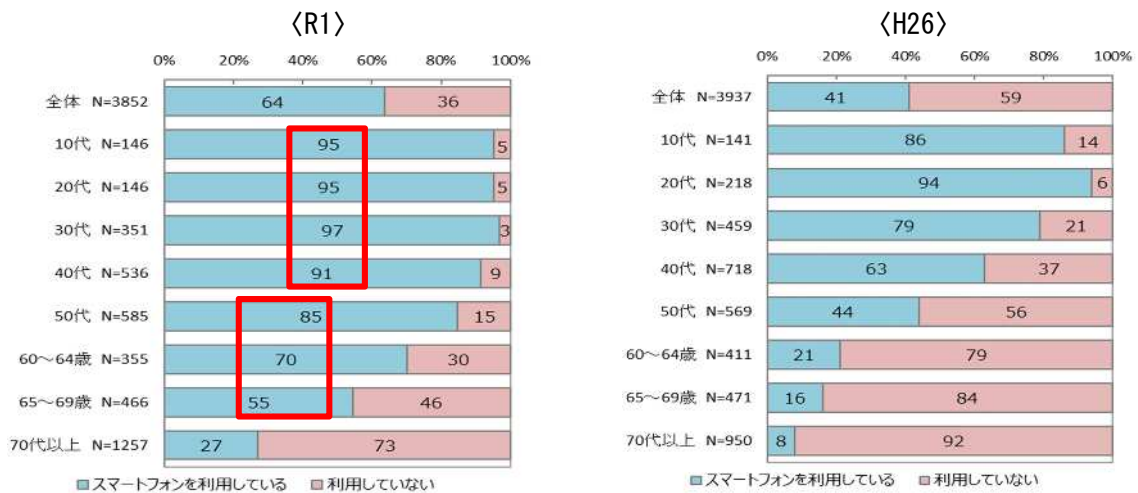


図 8 年齢別のスマートフォン利用者

### 3. 市民の移動実態

#### 3.1 外出頻度

- ・ ほぼ毎日外出する人は66%で、前回調査より2ポイント増加しています。
- ・ 週2日以上外出する人は93%です。

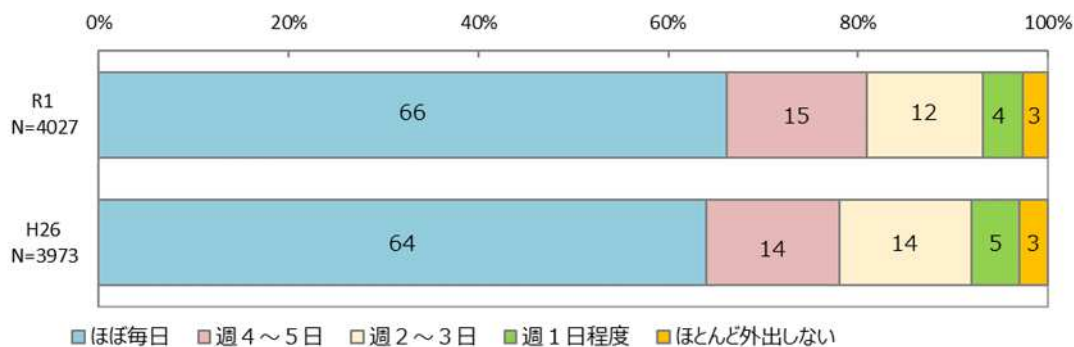


図 10 外出頻度

#### 3.2 高齢者の外出頻度

- ・ 高齢者で週4日以上外出する人は71%で、前回調査より9ポイント増加しており、公共交通の利便性向上やおでかけ定期券制度の定着により、高齢者の外出頻度が増加していると考えられます。

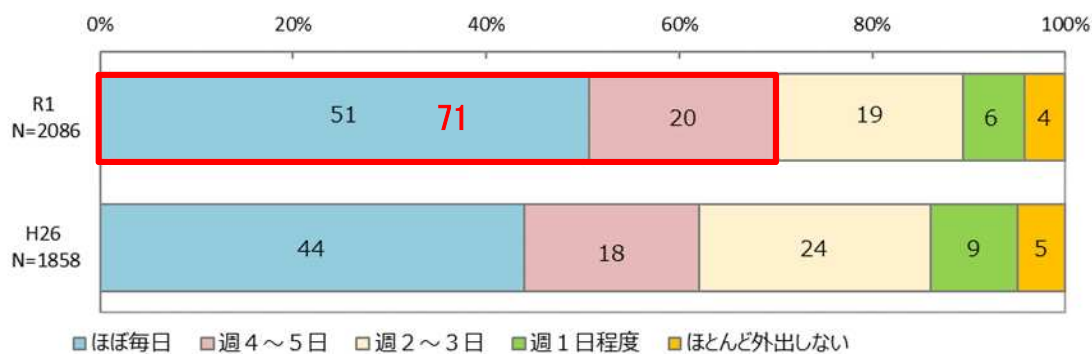


図 11 高齢者の外出頻度（※高齢者：60歳以上）

### 3.3 外出目的

- ・ 平日の主な外出目的は通勤が最も多く 51%を占め、次いで買い物が 25%を占めます。
- ・ 休日の主な外出目的は買物が 63%と最も多く、次いで趣味・レジャーが 23%です。

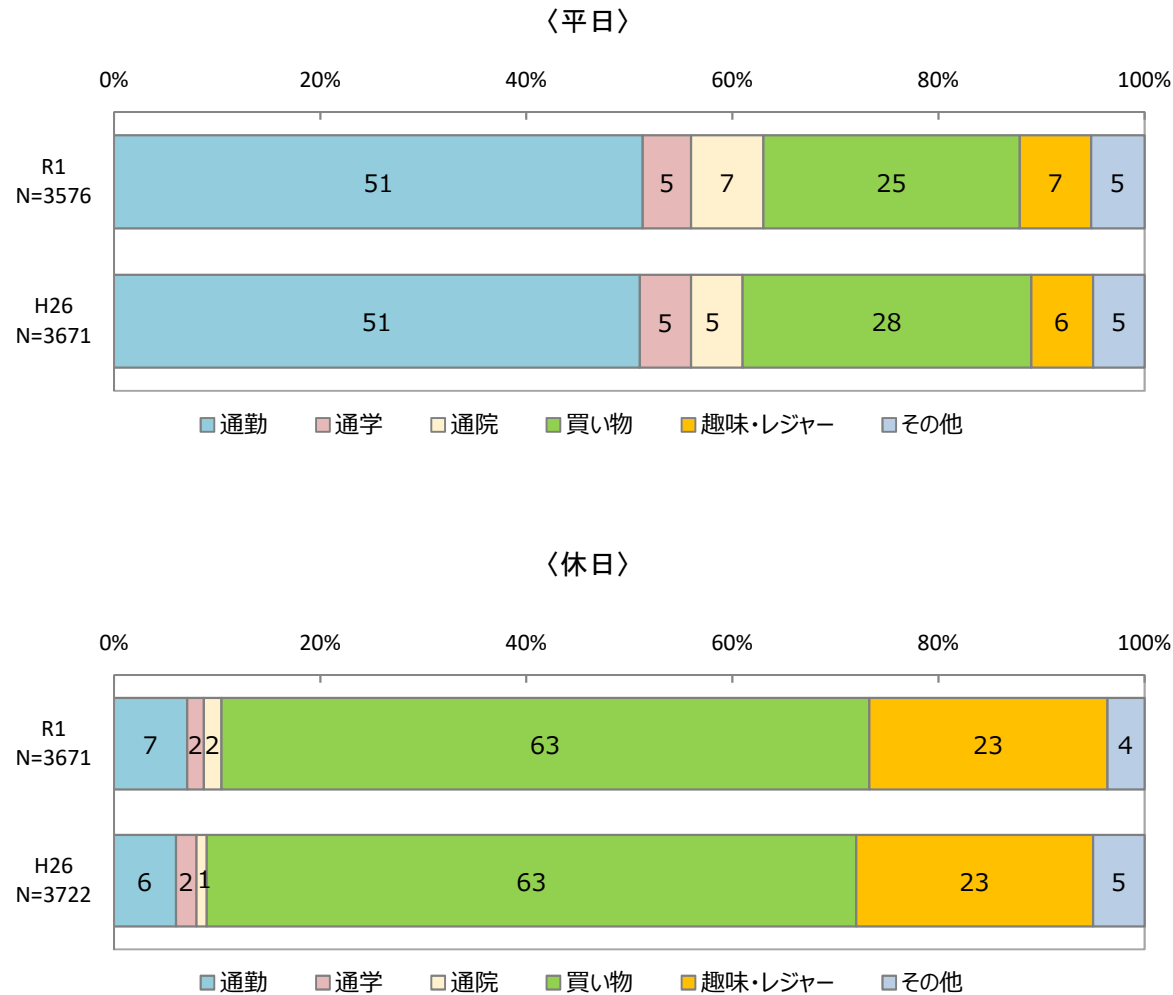


図 12 外出目的（主なもの）

### 3.4 交通手段

- ・ 主な交通手段は車が平日・休日ともに最も多く、平日は74%、休日は76%です。
- ・ 平日通勤者の交通手段では、全ての年代で車（自分で運転）を利用する人が8割を超え、平日の車利用が多いのは、通勤での車利用が多いことが原因と考えられます。
- ・ 前回調査と年代別で比較すると、平日・休日とも50代以上で車利用の割合が増加しており、特に、70代以上で10ポイント以上増加していることが、車の利用割合の増加の主な要因であると推測されます。

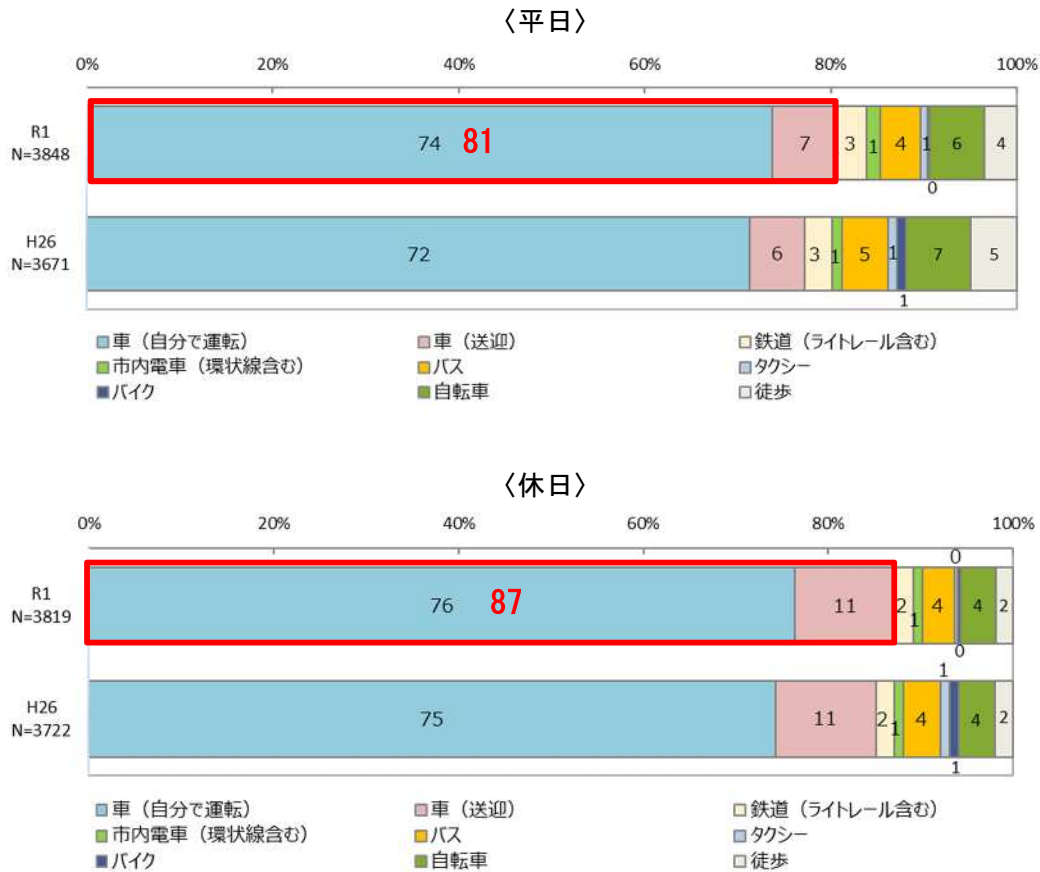


図 13 交通手段（主なもの）

表 2 年齢別の交通手段（平日通勤者）

(人、%)

	回答者数	車（自分で運転）	車（送迎）	鉄道（ライトレール含む）	市内電車（環状線含む）	バス	バイク	自転車	徒歩
全体	1,796	85.9	1.1	2.8	1.1	2.3	0.2	3.6	3.2
10代	6	83.3	-	-	-	16.7	-	-	-
20代	96	80.2	2.1	3.1	2.1	5.2	-	3.1	4.2
30代	270	83.7	1.1	3.0	1.1	2.6	-	3.0	5.6
40代	417	87.8	0.2	2.2	0.5	1.7	0.2	4.3	3.1
50代	442	86.7	-	3.2	0.9	2.0	0.2	4.1	2.9
60～64歳	197	88.8	1.0	4.1	-	0.5	-	3.0	2.5
65～69歳	149	87.2	1.3	1.3	2.7	1.3	-	3.4	2.7
70代以上	126	81.7	7.1	1.6	2.4	3.2	-	2.4	1.6

### 3.5 ①公共交通の利用頻度

- ・公共交通を「週に1回以上」利用する人は、15%であるのに対し、「ほとんど利用しない」人は、44%と半数近くを占めています。
- ・年齢別では、前回調査と比較して週2回以上公共交通を利用する割合が20代は7ポイント、30代は2ポイント増加しているが、回答者の3割以上を占める70代が4ポイント減少しており、利用頻度の減少の主な要因であると推測されます。

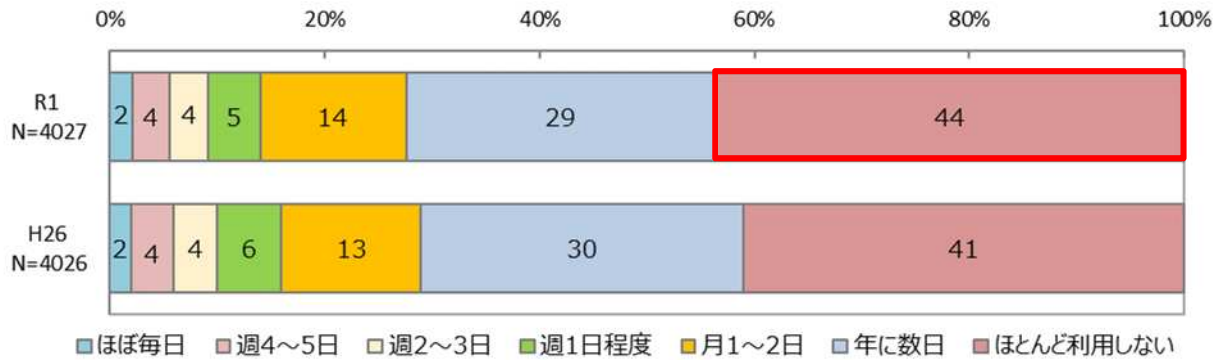


図 15 公共交通の利用頻度

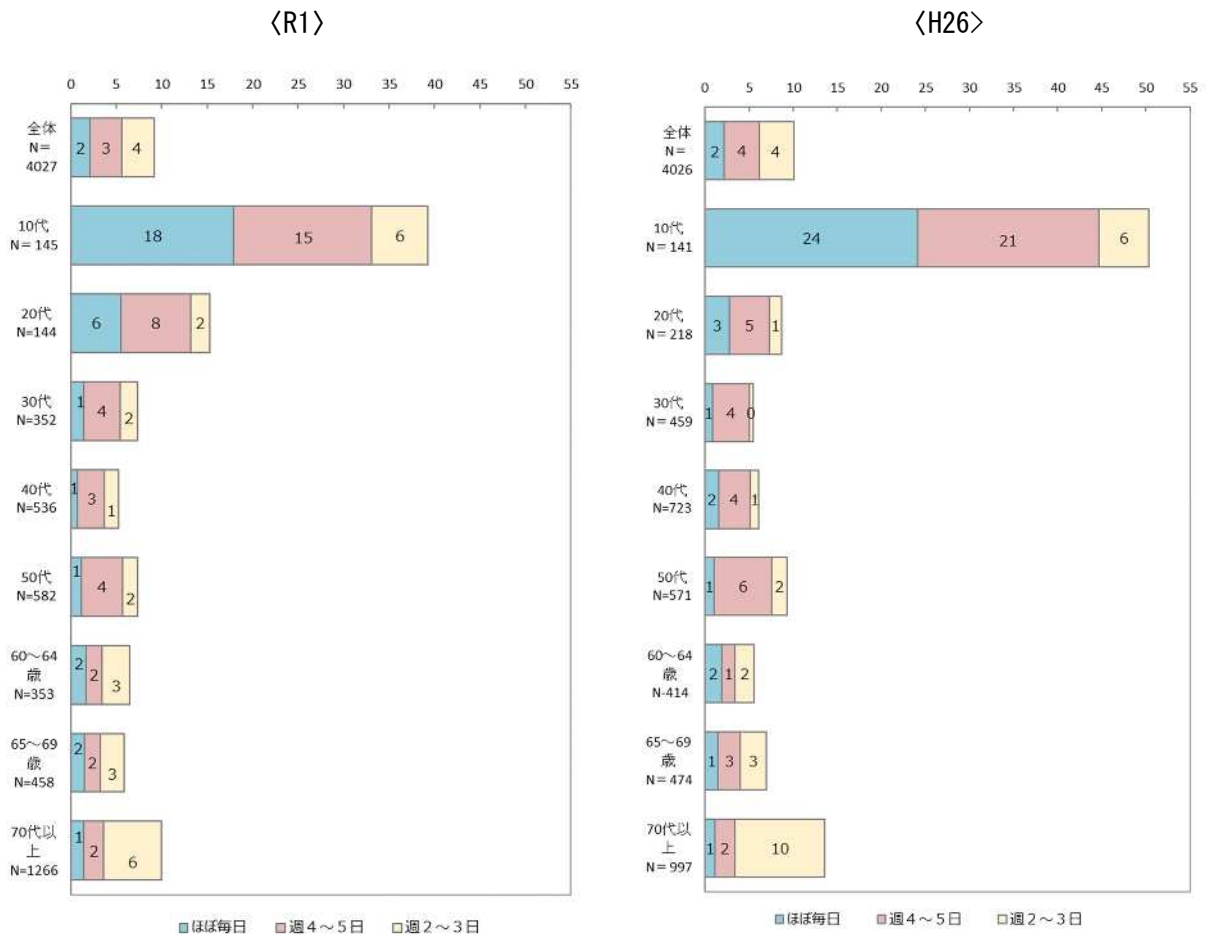


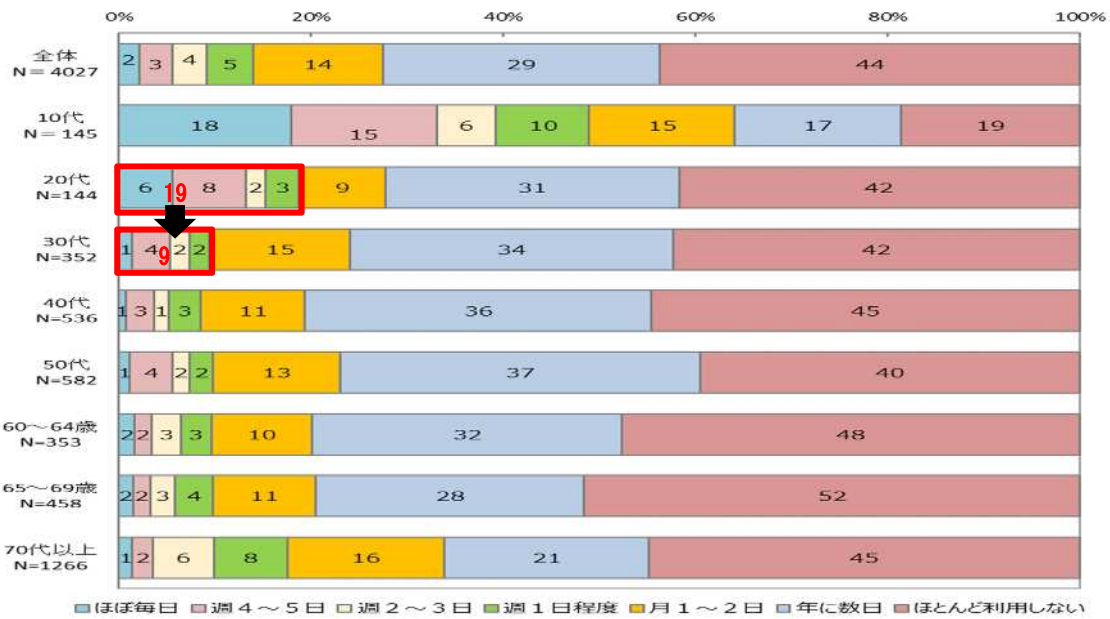
図 16 年齢別の利用頻度（週2回以上）



### 3.5 ②年代別の公共交通の利用頻度

- ・年齢別に公共交通の利用頻度をみると、30代から週1日以上利用する割合が減ることから、学生や20代へのモビリティ・マネジメント（MM）による利用啓発活動が効果的と考えられます。
- ・70代以上は、公共交通を月に1回以上利用する割合が大きいため、65歳～69歳へお出かけ定期券や歩くライフスタイルを周知するモビリティ・マネジメント（MM）を充実させることにより、高齢者の公共交通の利用者増や利用の定着を図れると考えられます。

〈R1〉



〈H26〉

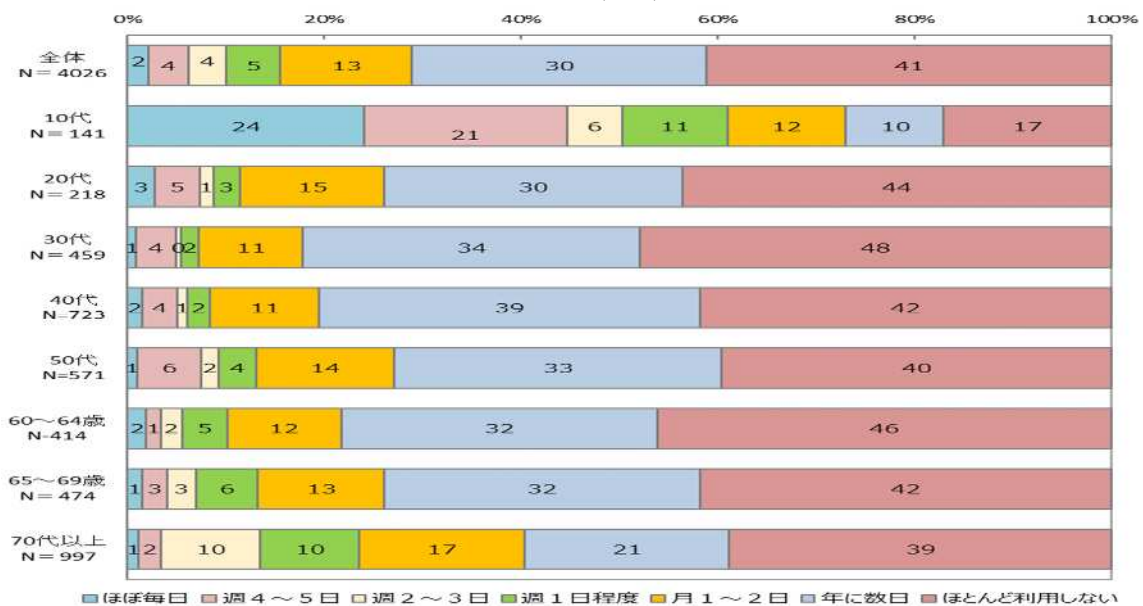


図 17 年代別・公共交通の利用頻度

### 3.6 よく利用する公共交通

- ・最も利用する公共交通を一つ選んでもらったところ、最も利用が多かったのは「路線バス」(35%)であり、次いで「市内電車」(13%)「富山ライトレール」(13%)です。
- ・利用者数が伸びている「あいの風とやま鉄道」の割合が減少し、「路線バス」の割合が増加しているのは、回答者数(N値)を地域別に前回調査と比較すると、中央地域と東部地域が減少し、南部地域が増加していることが原因と考えられます。

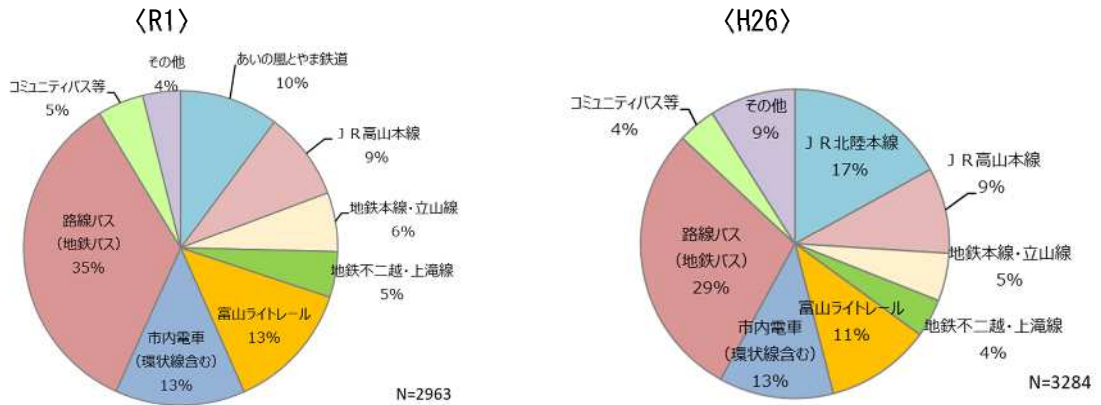


図 18 よく利用する公共交通

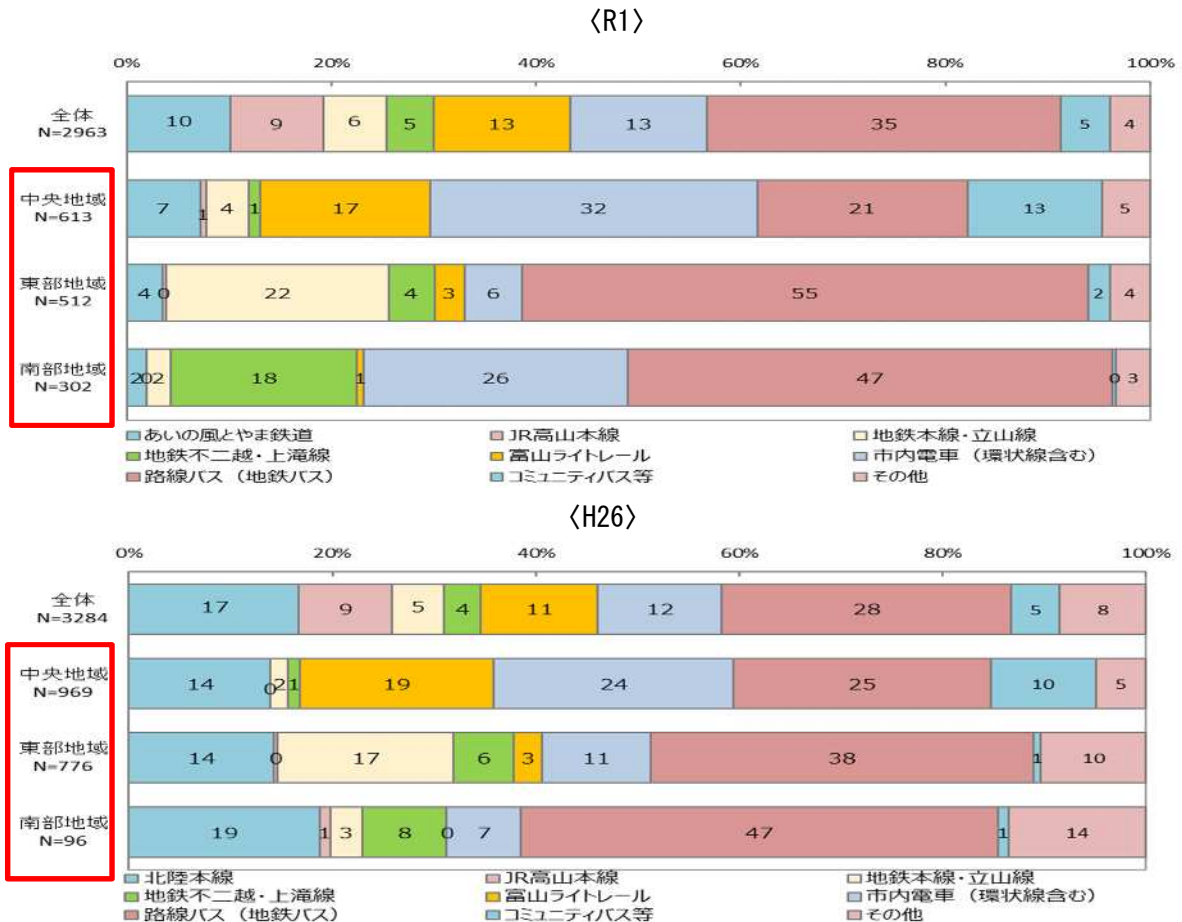


図 19 地域別のよく利用する公共交通 (特徴的な地域のみ)

### 3.7 公共交通を利用する際の運賃支払い方法

- ・ 前回調査から IC カードの利用割合は、5 ポイント増加しています。
- ・ 週 2 日以上公共交通を利用している人は、「70 代以上」を除いて全ての年代で IC カードの利用割合が増加しており、IC カードの利用が着実に定着しています。
- ・ 週 2 日以上公共交通を利用している人でも、現金利用者が 1~2 割いるので、IC カード利用拡大を進めていく余地がまだあると考えられます。

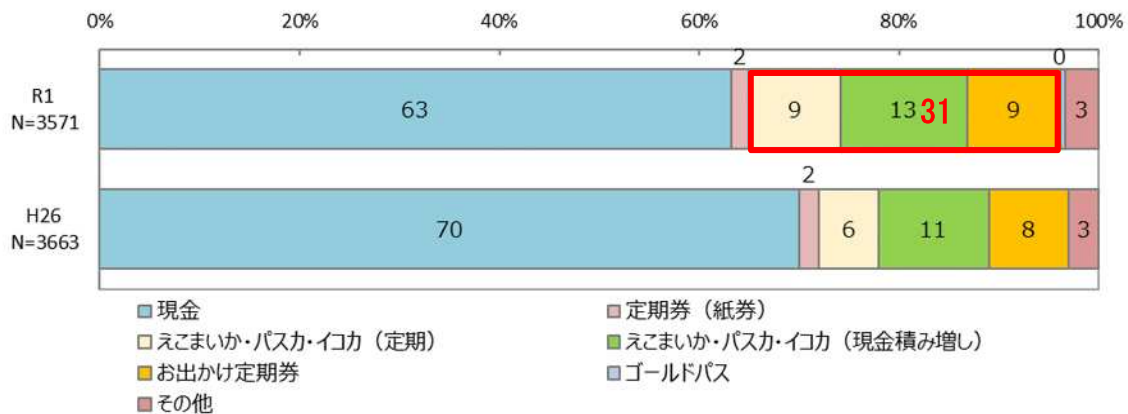


図 20 運賃支払方法

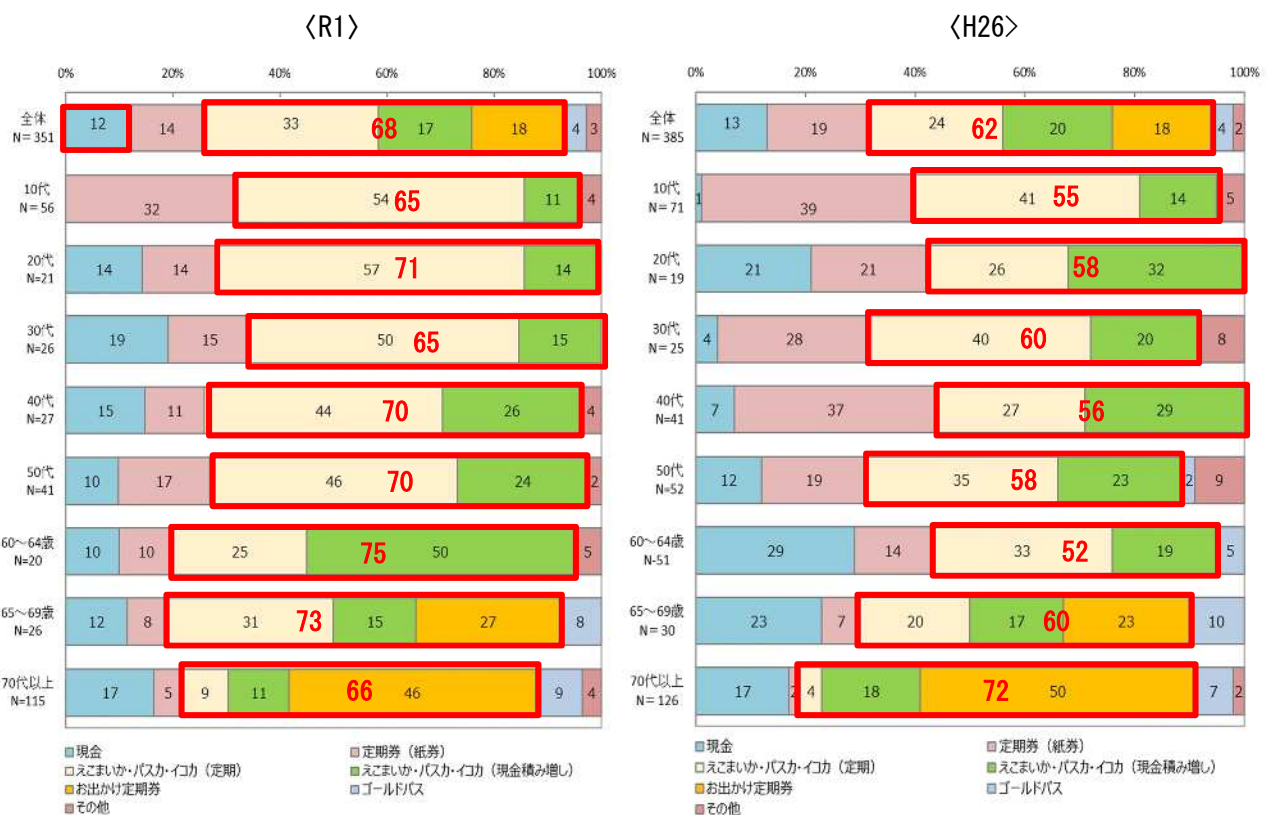


図 21 年代別・運賃支払方法 (週 2 日以上公共交通を利用する人)

## 4. 公共交通に対する満足度

### 4.1 富山市内の公共交通の便利さ

- ・「便利」「やや便利」を合わせた『便利』と感じている人が41%であるのに対し、『不便』（「不便」と「やや不便」を合わせた）と感じている人は59%と約6割を占めます。

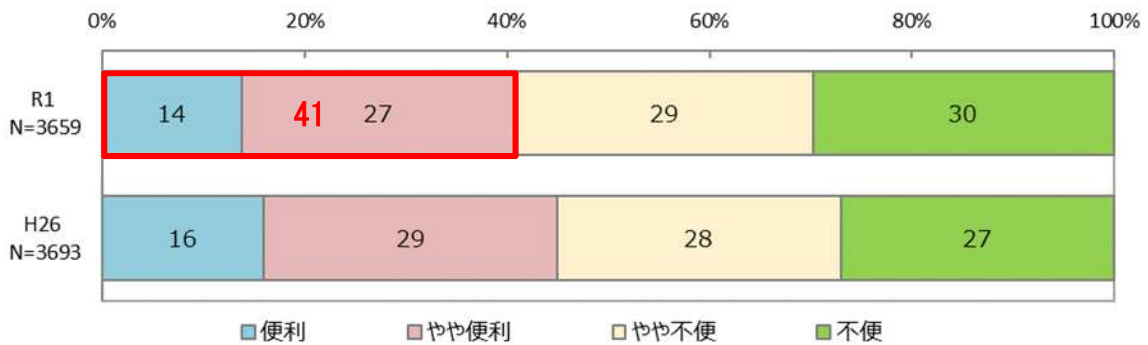


図 22 公共交通の便利さ

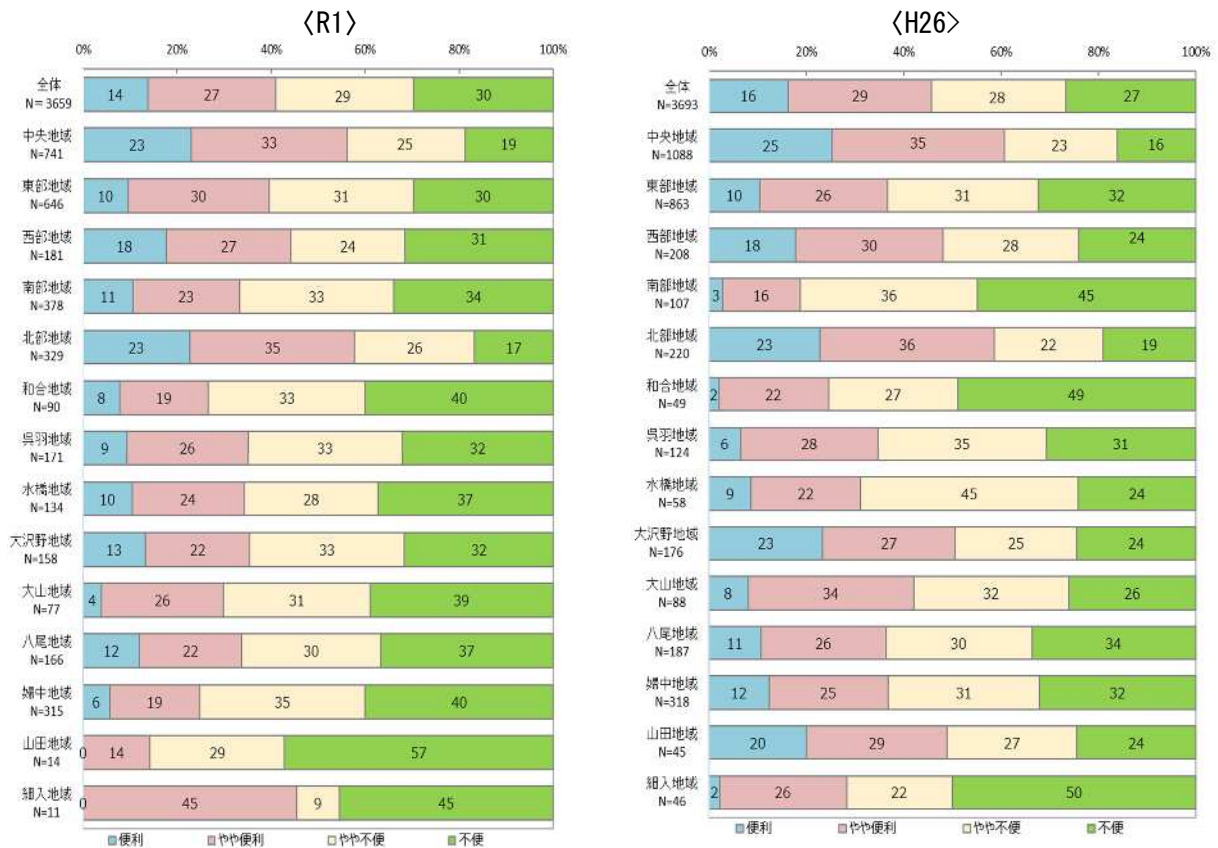


図 23 地域別の公共交通の便利さ

## 4.2 よく利用する公共交通の満足度

- ・公共交通に対する『満足』の割合は、前回調査と同様に、「時間の正確さ」や「路線のわかりやすさ」「車両の快適性」で比較的高く、「運行本数」「運賃」「終発時間」では、『不満』の割合が『満足』より高い。

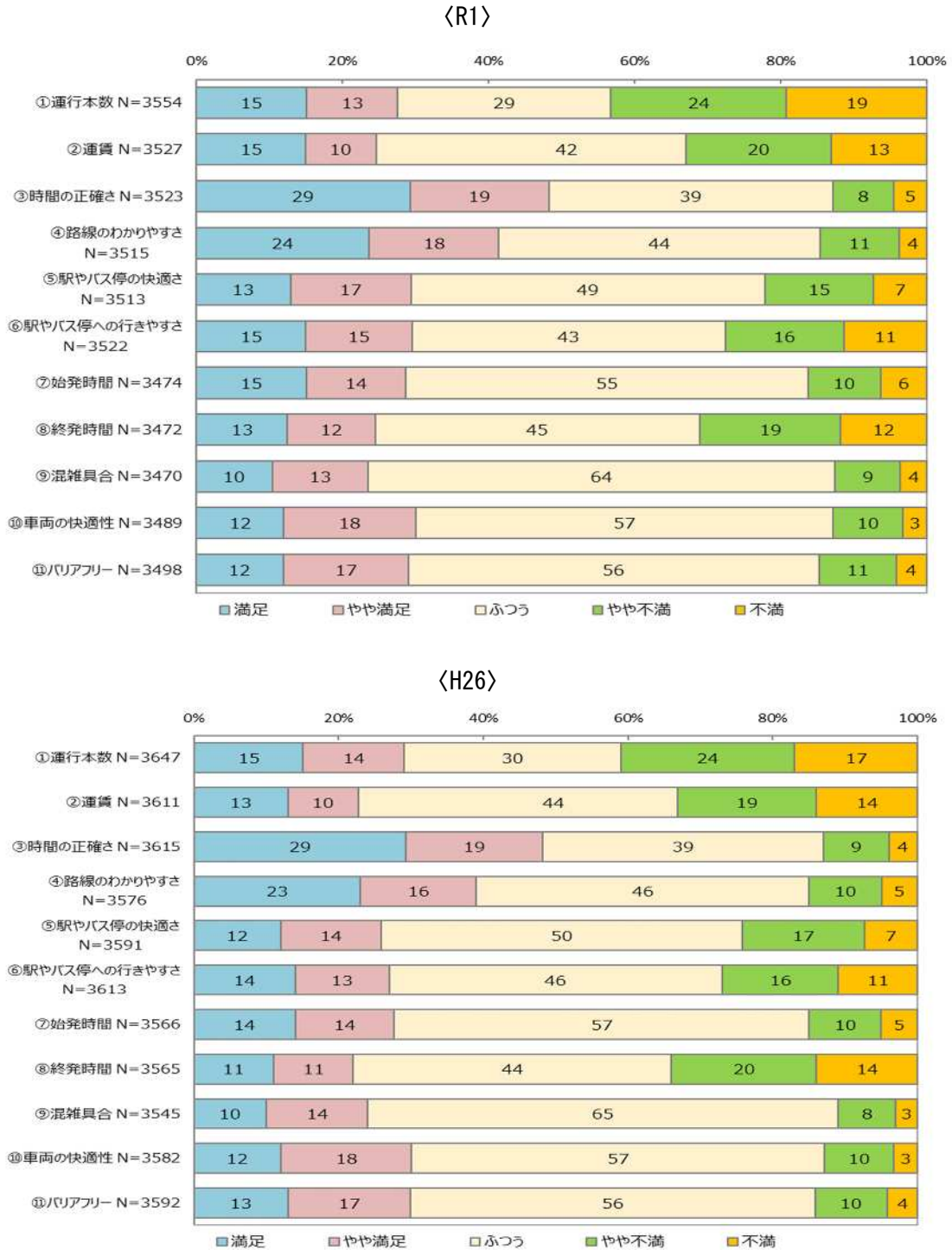


図 24 よく利用する公共交通の満足度



### 4.3 公共交通が『便利』『不便利』と回答した人の満足・不満足度

- ・公共交通が『便利』と答えた人の満足度をみると、特に「時間の正確さ」「路線のわかりやすさ」「運行本数」で『満足』の割合が高く、そのほかの項目も『満足』が『不満』を大きく上回っています。
- ・一方、公共交通が『不便』と答えた人は、特に「運行本数」「運賃」「終発時間」が『不満』の割合が高いが、「時間の正確さ」「路線のわかりやすさ」「車両の快適性」では、『満足』が『不満』を上回っています。

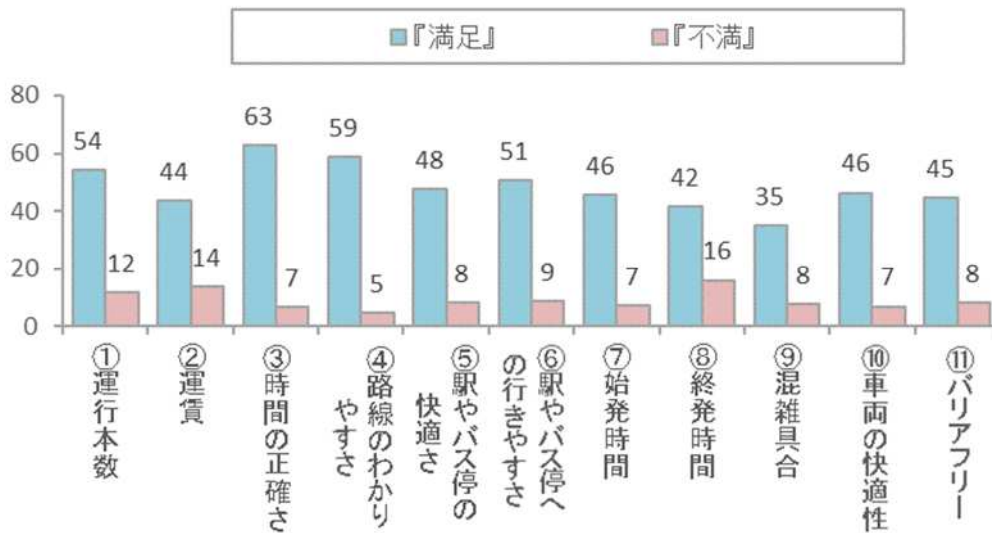


図 25 公共交通が『便利』と答えた人（問9）の満足度

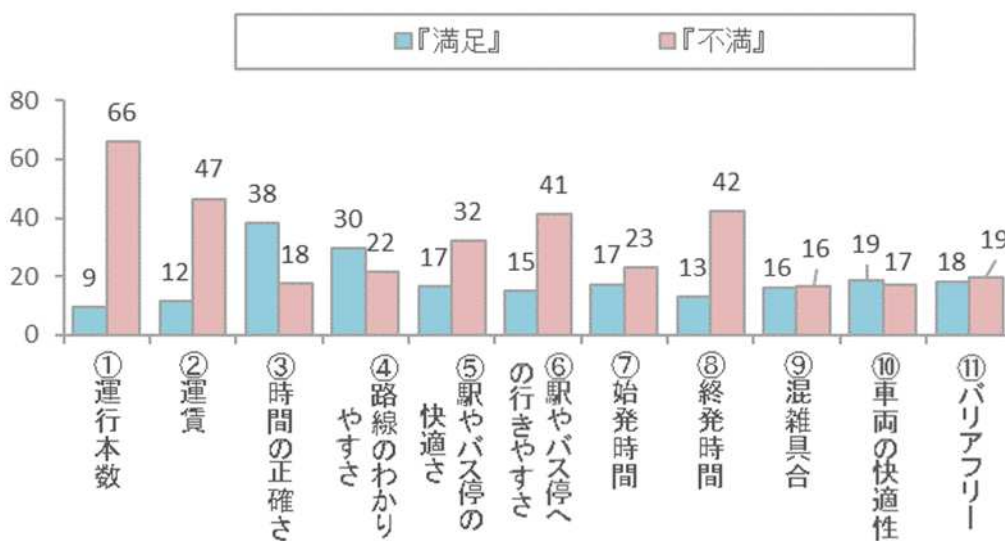


図 26 公共交通が『不便』と答えた人（問9）の満足度

## 5. 交通施策および都市施策に対する意識

### 5.1 ①10年後の移動に関する不安の有無

- ・10年後の移動に関する不安は、7割強の人が「ある」と回答しており、H26調査を上回っています。
- ・年齢別には、40代以上で不安が「ある」と回答した人は6割を超え、前回調査より増加しています。

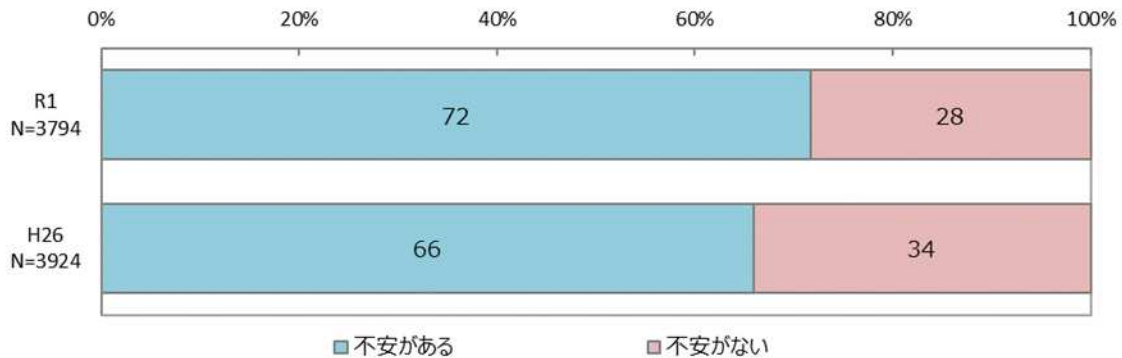


図 27 移動に関する不安の有無

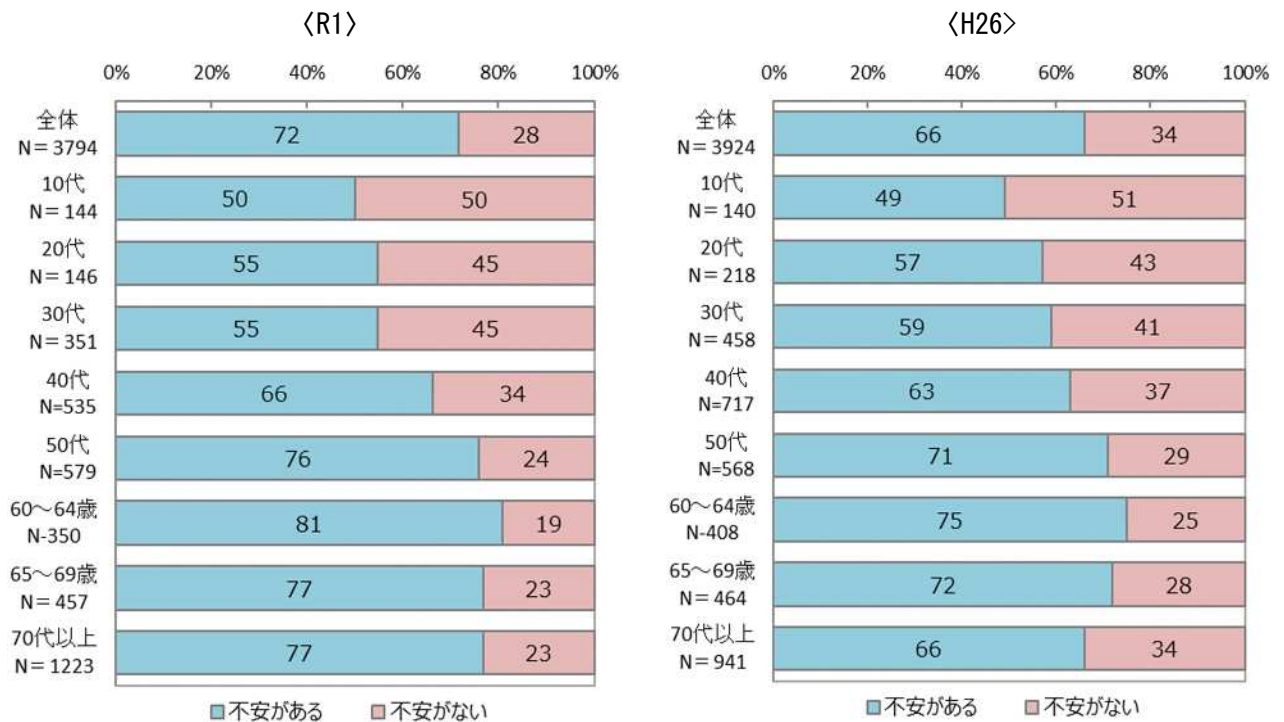


図 28 年代別の移動に関する不安の有無

### 5.1 ②10年後の移動に関する不安の有無

- ・和合、水橋、八尾地域は、前回調査から「不安がある」と回答した割合が10ポイント以上増加して、いずれも8割を超えています。

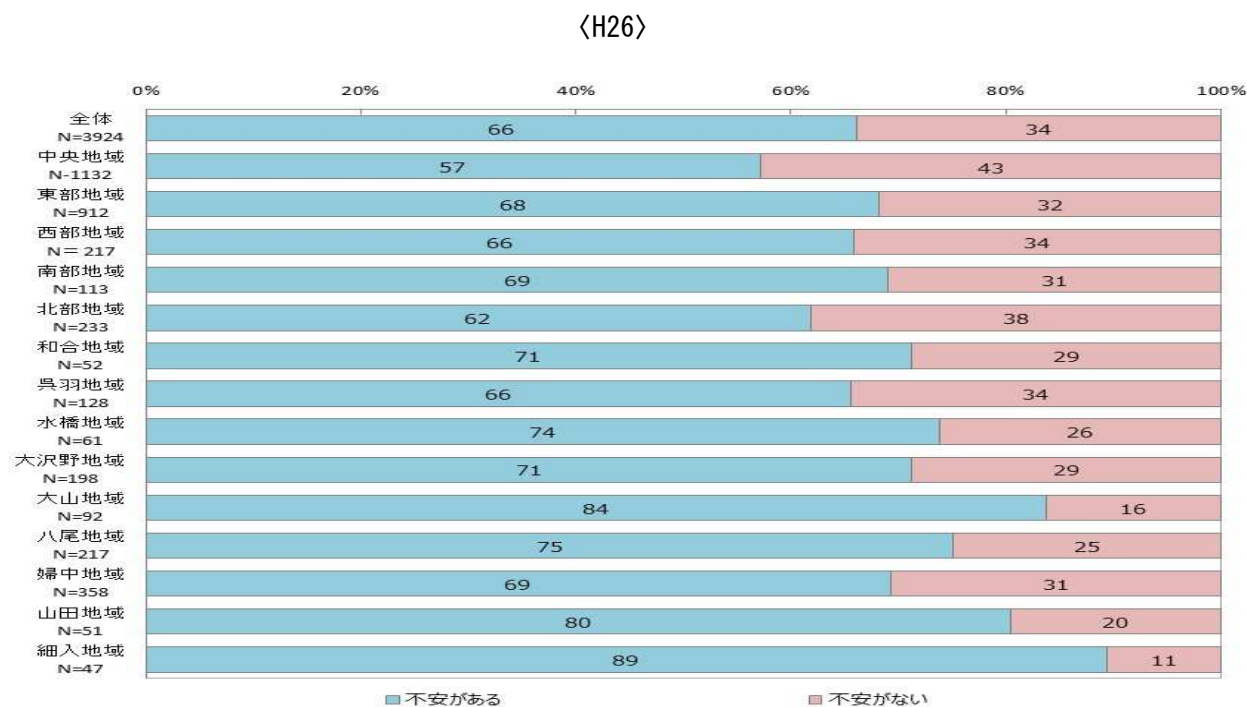
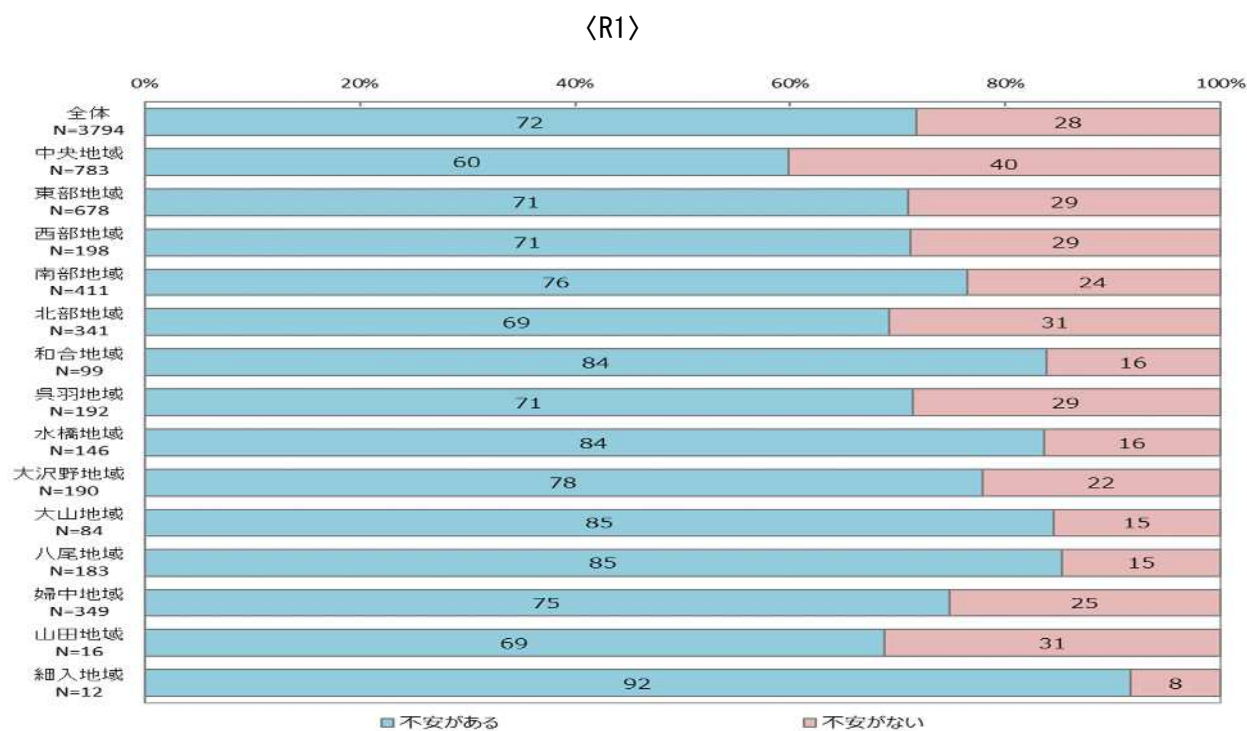


図 29 地域別の移動に関する不安の有無



## 5.2 移動で困ることの有無とその理由

・移動の際に「困ることがある」と回答した人に困る理由を尋ねたところ、「公共交通の運行本数が少ない」(50%)「鉄道の駅やバス停まで遠い」(43%)が上位に挙げられており、年代別でも全ての年代で同様に上位になっています。

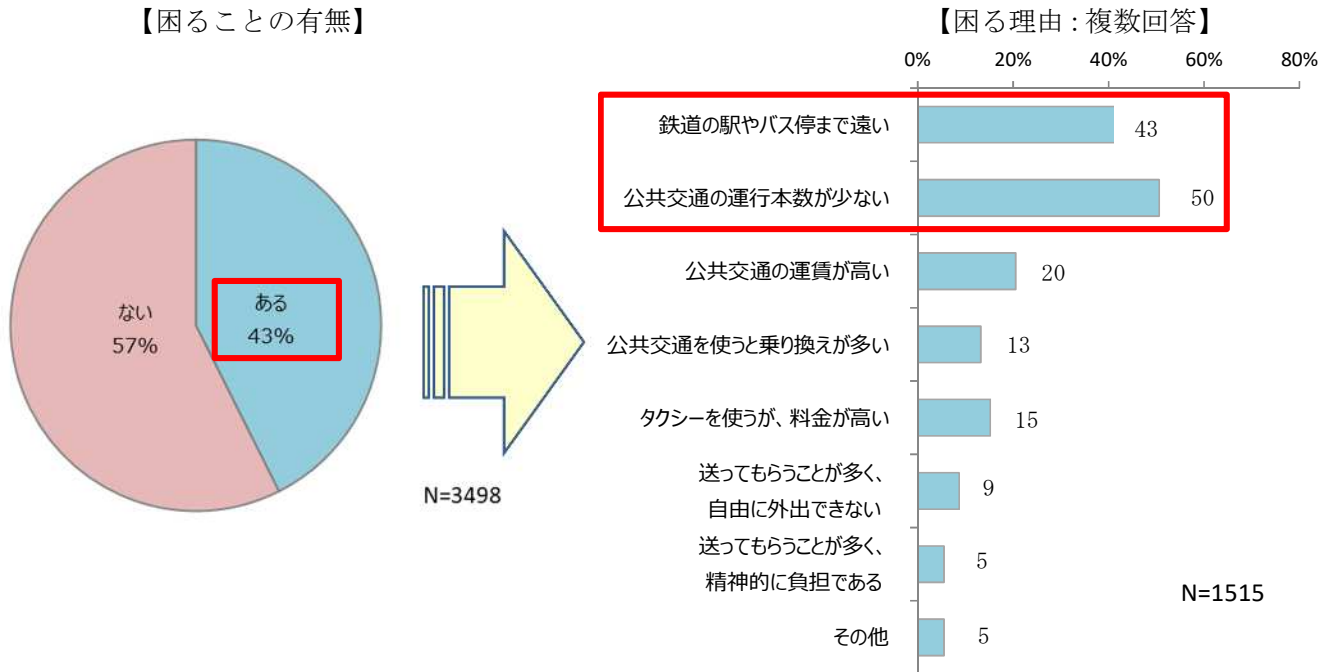


図 30 移動で困ることの有無とその理由（複数回答）

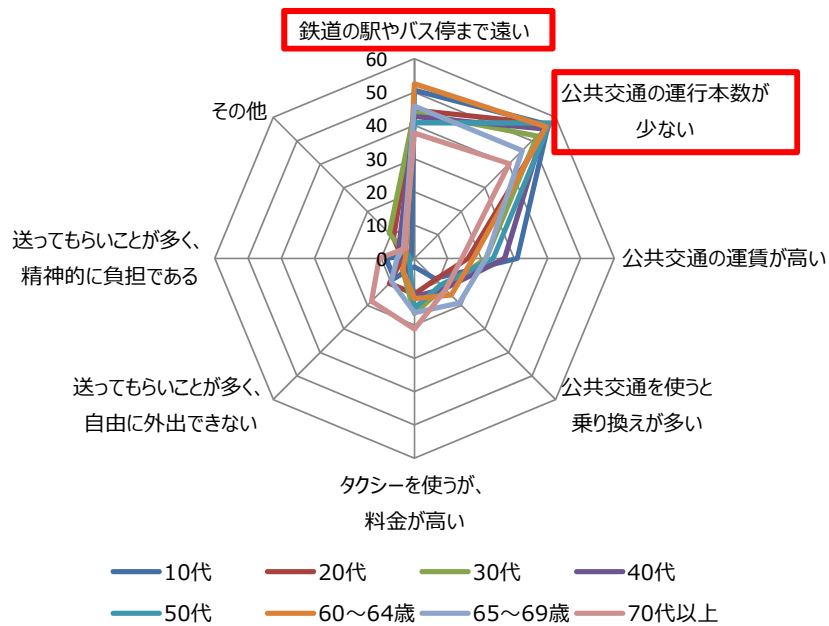


図 31 年齢別の移動で困ることの有無とその理由（複数回答）

### 5.3 公共交通を便利にする必要性と行政の関与へのご意見

- ・公共交通を便利にする必要性は、「とても必要であると思う」と「必要であると思う」を合わせると8割以上が『必要』としており、前回調査を上回っています。
- ・行政の関与については、9割以上が「積極的に支援すべき」「支援はやむを得ない」と肯定的であり、こちらも前回調査を上回っています。

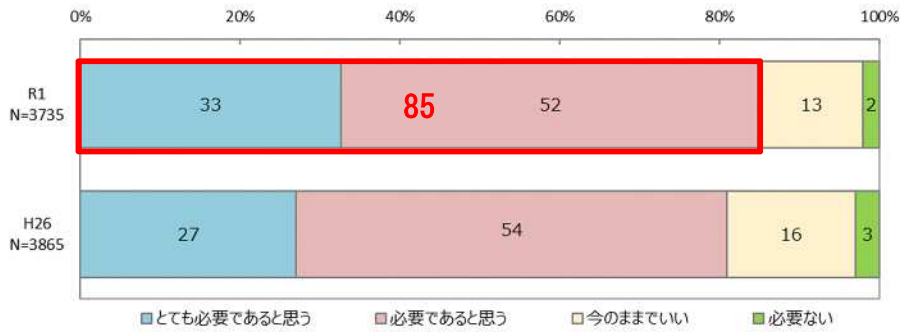


図 32 便利にする必要性

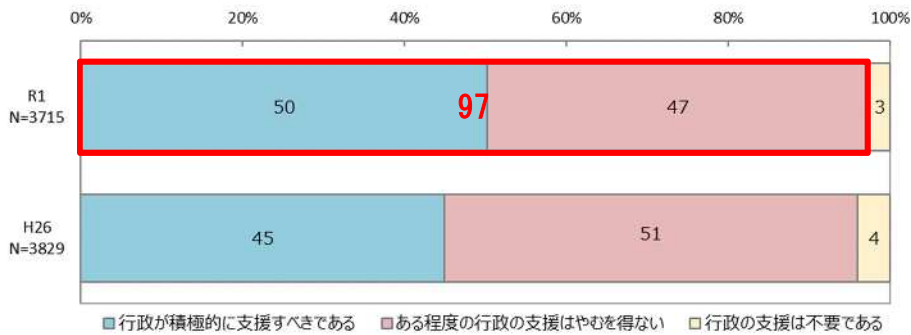


図 33 行政の関与へのご意見

### 5.4 公共交通の活性化によるコンパクトなまちづくりに関する政策の認知

- ・「公共交通の活性化によるコンパクトなまちづくり」を「知っている」人は5割を超え、前回調査を上回っています。地域別では、特に中央地域、西部地域、呉羽地域でその割合が高い。

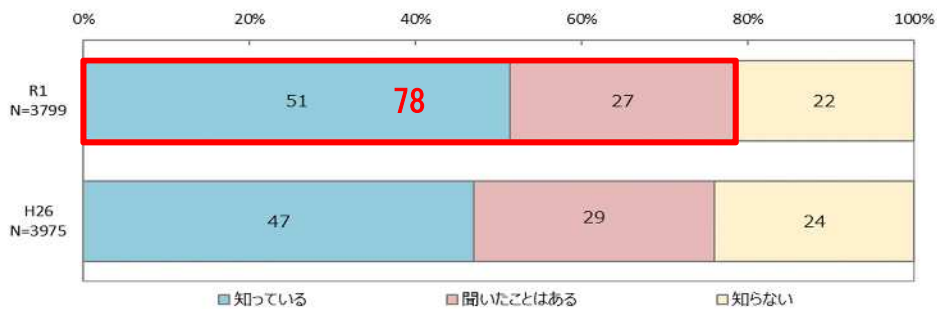


図 34 コンパクトなまちづくり政策の認知

## 6. 使用した調査票

### 富山市の公共交通（鉄道やバスなど）に関する市民意識調査

日頃から本市の交通行政にご理解、ご協力をいただき、ありがとうございます。

本市では、「公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくり」を推進しており、地域公共交通を活性化し、持続可能な地域公共交通網の形成を図るため「富山市地域公共交通網形成計画」（計画期間：平成28年度～令和7年度までの10年間）を策定しております。

今後、さらに公共交通の活性化を図り、コンパクトシティの形成を推進することを目的に、市民の皆様様の公共交通の利用状況等を把握したいため、アンケート調査にご協力いただきますようお願いいたします。

#### 【注意事項】

- 下記設問の該当する番号に○をつけてください。
- ご記入後、返信用封筒に入れて**令和元年7月31日**までに投函してください。（切手不要）
- 調査結果は、本調査の目的以外には一切使用しません。

【問い合わせ先】 富山市 活力都市創造部 交通政策課 電話 076-443-2195

#### 普段の外出についてお伺いします

問1 普段、どのくらいの頻度で外出されますか。

1. ほぼ毎日 2. 週4～5日 3. 週2～3日 4. 週1日程度 5. ほとんど外出しない

問2 平日（月～金）の外出時の主な交通手段をお答えください。（主なもの1つに○）

外出目的 主なもの	1. 通勤 2. 通学 3. 通院 4. 買い物 5. 趣味・レジャー 6. その他（ ）
交通手段 主なもの1つ	1. 車（自分で運転） 2. 車（送迎） 3. 鉄道（ライトレール含む） 4. 市内電車（環状線含む） 5. バス 6. タクシー 7. バイク 8. 自転車 9. 徒歩 10. その他（ ）

問3 休日（土・日・祝）の外出時の主な交通手段をお答えください。（主なもの1つに○）

外出目的 主なもの	1. 通勤 2. 通学 3. 通院 4. 買い物 5. 趣味・レジャー 6. その他（ ）
交通手段 主なもの1つ	1. 車（自分で運転） 2. 車（送迎） 3. 鉄道（ライトレール含む） 4. 市内電車（環状線含む） 5. バス 6. タクシー 7. バイク 8. 自転車 9. 徒歩 10. その他（ ）

#### 公共交通（鉄道・市内電車・バスなど）の利用についてお伺いします

問4 あなたは、公共交通をどのくらいの頻度で利用していますか。

1. ほぼ毎日 2. 週4～5日 3. 週2～3日 4. 週1日程度 5. 月1～2日  
6. 年に数日 7. ほとんど利用しない

**問5** あなたが最もよく利用する公共交通は、次のうちどれですか。

1. あいの風とやま鉄道 2. JR高山本線 3. 地鉄本線・立山線 4. 地鉄不二越・上滝線  
 5. 富山ライトレール 6. 市内電車（環状線含む） 7. 路線バス（地鉄バス）  
 8. コミュニティバス（八尾、大山、山田） 9. 大沢野シルバータクシー 10. まいどはやバス  
 11. 呉羽いきいきバス 12. 水橋ふれあいコミュニティバス 13. 婦中コミュニティバス  
 14. 堀川南地域自主運行バス 15. その他（ ）

**問6** あなたが最もよく利用する公共交通の、ご自宅から駅やバス停までの距離を教えてください。

1. 300m（徒歩5分）未満 2. 300～500m 3. 500m～1km  
 4. 1～1.5km（自転車10分） 5. 1.5km以上 6. 分からない

**問7** あなたが最もよく利用する公共交通の、運行本数（片道）をお答えください。  
 ※よく利用する時間帯の本数で結構です。

1. 15分に1本以上 2. 30分に1本以上 3. 1時間に1本以上  
 4. 1～2時間に1本 5. 2時間に1本より少ない 6. 不明・分からない

**問8** あなたが公共交通を利用する際の支払い方法をお答えください。（主なもの一つ）

1. 現金 2. 定期券（紙券） 3. えこまいか・パスカ・イコカ（定期）  
 4. えこまいか・パスカ・イコカ（現金積み増し） 5. お出かけ定期券 6. ゴールドパス 7. その他

**公共交通の満足度・改善点についてお伺いします**

**問9** 富山市内の公共交通は便利だと思いますか。

1. 便利 2. やや便利 3. やや不便 4. 不便

**問10** あなたが最もよく利用する公共交通について、満足度を5段階で評価してください。  
 ※ふだん使われない方は、お住いの近くを通る公共交通についてお答えください。

	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満
①運行本数	5	4	3	2	1
②運賃	5	4	3	2	1
③時間の正確さ	5	4	3	2	1
④路線のわかりやすさ	5	4	3	2	1
⑤駅やバス停の快適さ・使いやすさ	5	4	3	2	1
⑥駅やバス停への行きやすさ	5	4	3	2	1
⑦始発時間	5	4	3	2	1
⑧終発時間	5	4	3	2	1
⑨混雑具合	5	4	3	2	1
⑩車両の快適性（デザイン、空調等）	5	4	3	2	1
⑪バリアフリー（段差、降車ボタン等）	5	4	3	2	1



